

カリキュラムアセスメント 基盤教育センター 外国語教育部門

2023年3月15日

Content

カリキュラムアセスメントの対象

エビデンス

結果

評価

対象カリキュラム

2021年からの新カリキュラム

1年春

- 初修外国語1
- 基礎英語
- 基礎英会話
- 検定英語
- 英語で文化

1年秋

- 基盤英語(初級)
- 基盤英語(準中級)
- 基盤英語(中級)
- 基盤英語(上級)
- 初修外国語2

2年春

- 初修外国語3
- 学術英語
- 英語コミュニケーション

2年秋

- Discussion
- Presentation
- Academic Writing

3年春

未実施

DPとの関連

		A 知識・理解	B 思考・判断・表現	C 関心・意欲・態度	D 技能
英語科目	基礎英語			◎	
	基盤英語(初級)	◎			○
	基盤英語(準中級)	◎			○
	基盤英語(中級)	◎			○
	基盤英語(上級)	◎			○
	基礎英会話			◎	
	学術英語(中級)	○	◎		
	学術英語(上級)	○	◎		
	Discussion				◎
	Presentation				◎
	Academic Writing				◎
	CLIL		◎	○	
	検定英語(初級)	◎		○	
	検定英語(上級)	◎		○	
英語で文化	○		◎		
英語コミュニケーション			◎	○	

DPとの関連

		A 知識・理解	B 思考・判断・表現	C 関心・意欲・態度	D 技能
初修外国語科目	初修外国語1				◎
	初修外国語2				◎
	初修外国語3				◎
日本語科目	基礎日本語1	◎	○		
	基礎日本語2	◎	○		
	日本語読解作文	◎	○		
	日本語口語表現	◎	○		

エビデンス

1. 授業アンケート(2022年度春)
2. 単位取得状況
3. ~~コンピテンシー・リテラシー調査~~



該当データなし

授業アンケート(2022春より)

自由記述欄のコメント内容 (DP毎に振り分け)

	A 知識・理解	B 思考・判断・表現	C 関心・意欲・態度	D 技能	
初修外国語	23	0	21	8	A_B_C_D◎
基礎英語	11	0	7	0	A_B_C◎D_
基盤英語	1	0	5	0	A◎B_C_D○
基礎英会話	0	0	21	5	A_B_C◎D_
英語で文化	5	0	10	0	A○B_C◎D_
英語コミュニケーション	4	0	12	3	A_B_C◎D○
検定英語	2	0	0	0	A◎B_C○D_

授業アンケート(2022春より)

シラバスの目標を達成(できた+だいたいできた)の割合)

	できた	だいたい	半分程度	少し	できなかった	
初修外国語	80	126	44	11	3	78%
基礎英語	20	34	21	7	1	65%
基盤英語	10	16	2	4	0	81%
基礎英会話	41	32	10	3	0	85%
英語で文化	6	16	2	0	0	92%
英語コミュニケーション	70	64	18	2	0	87%
検定英語	16	17	4	0	0	89%

履修人数(2021~2022年度)

学生自己評価(目標達成できた/だいたいできた)

	履修人数	A 知識・理解	B 思考・判断・表現	C 関心・意欲・態度	D 技能
基礎英語	220			◎	
基盤英語(初級)	499	◎			○
基盤英語(準中級)	1,114				
基盤英語(中級)	756				
基盤英語(上級)	447				
基礎英会話	446			◎	
学術英語(中級)	53	○	◎		
学術英語(上級)	49	○	◎		
Discussion	6				◎
Presentation	2				◎
Academic Writing	5				◎
CLIL	0		◎	○	
検定英語(初級)	158	◎		○	
検定英語(上級)	36	◎		○	
英語で文化	132	○		◎	
英語コミュニケーション	350			◎	○

2年春以降から開講の授業で履修者減

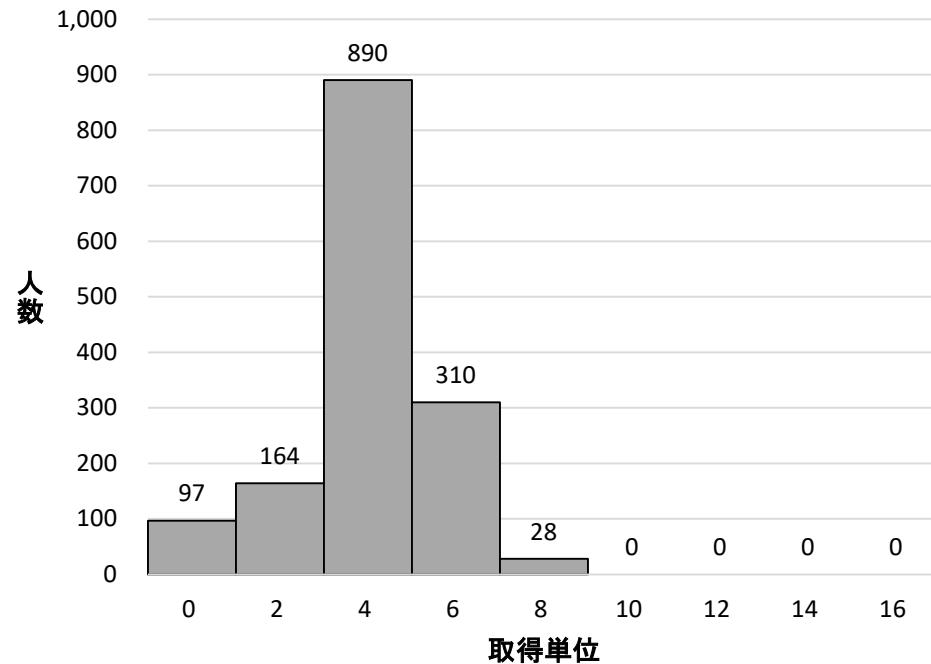
英語科目

履修人数(2021~2022年度)

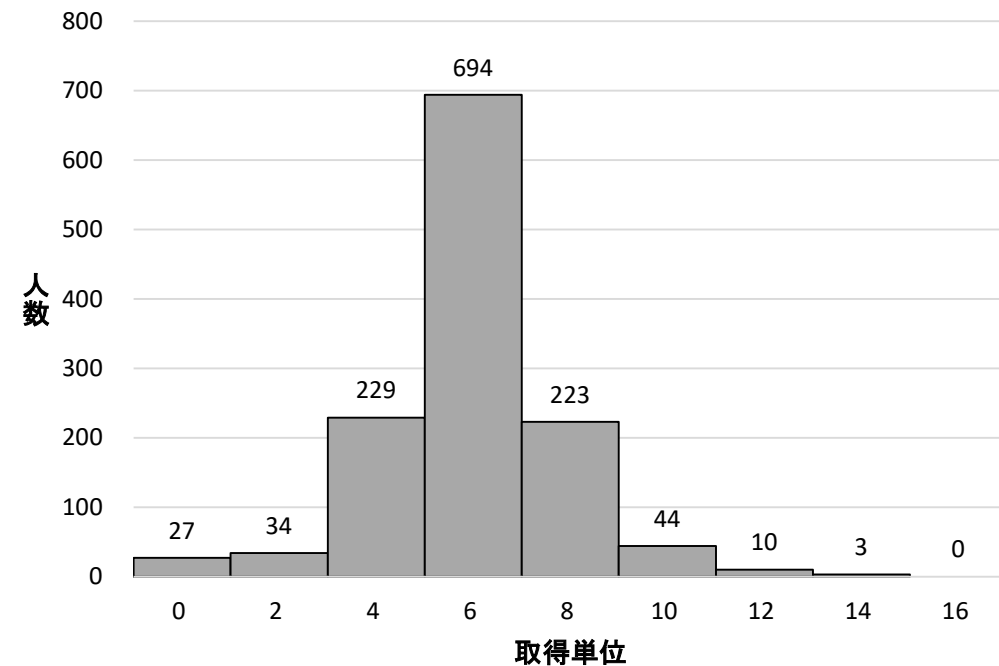
		履修人数	A 知識・理解	B 思考・判断・表現	C 関心・意欲・態度	D 技能
初修外国語科目	初修外国語1	2,882				◎
	初修外国語2	373				◎
	初修外国語3	4				◎
日本語科目	基礎日本語1	65	◎	○		
	基礎日本語2	60	◎	○		
	日本語読解作文	33	◎	○		
	日本語口語表現	65	◎	○		

単位取得状況

2022年度1年次生基盤外国語科目取得単位分布



2022年度2年次生基盤外国語科目取得単位分布



1年生の間に卒業に必要な外国語科目単位取得した学生が22%超
2年生で卒業に必要な外国語科目単位取得した学生が72.5%

単位取得状況

1. 基礎英語→基盤英語(初級) 1年生70%(68/94) 2年生90%(91/98)
2. 1年次で6単位以上取得が多い組み合わせ
 - 基礎英語・基盤英語(初級)・初修外国語1
 - 基盤英語(準中級)(中級)(上級)・初修外国語1・基礎英会話
3. 2年次で10単位以上取得 基礎英語10名 基盤英語(上級)23名
4. 基盤英語(初級)→(準中級)などのレベルアップ 各25名程度
5. 初修外国語1→初修外国語2 などの初修外国語のレベルアップ 1年生76名、2年生241名

DP項目	アセスメント項目番号	学生のDP達成度に対する評価	根拠
A 知識・理解:	3・4	B	<ul style="list-style-type: none"> ・資料3(授業アンケートの学生コメントからは知識・理解が深まったと感じているものが多い。 ・資料3(授業アンケート)で知識・理解に関連する授業履修者の81%又は89%が目標を達成したと答えている。 ・資料4(単位取得状況)からDPの知識・理解に関連する授業は選択必修であるため全学生が履修、単位取得する。
B 思考・判断・表現:	3・4	D	<ul style="list-style-type: none"> ・資料3(授業アンケート)から学生は思考・判断・表現に対する評価が見られない。 ・資料4(単位取得状況)からDPの思考・判断・表現に関連する授業履修者が少ない又はまだ開講されていない。
C 関心・意欲・態度:	3・4	A	<ul style="list-style-type: none"> ・資料3(授業アンケート)で関心・意欲・態度に関連する授業履修者の中で目標達成したと答えた学生は、基礎英語受講者は65%だが他の教科では85%以上である。 ・資料3(授業アンケート)で学生のコメントに関心・意欲・態度が高まったとするコメントが多い。 ・資料4(単位取得状況)からDPの関心・意欲・態度に関連する授業の履修者が選択科目の中でも多い。
D 技能 :	3・4	C	<ul style="list-style-type: none"> ・資料3(授業アンケート)の自由記述では技能向上に関連するコメントが少なかったが、DPと関連する授業(初修外国語)では78%が目標達成したと答えた。 ・資料4(単位取得状況)から技能に関連する選択科目履修者が少ない

アセスメント方法の改善

- ◆ 卒業時の意識調査（カリキュラムコンサルティング）や外部テスト結果（PROG等）を用いた外国語能力や異文化理解について調査する。
- ◆ 授業評価アンケートでDPに関連する項目を加える。

カリキュラム改善

- ◆2年生以降対象に開講される授業への履修を促すため、より外国語への関心や必要性を伝える。
- ◆学生の専門性と外国語の関連について、学部学科の意識調査を活用する。

総括

- ◆新カリキュラムとして始動してまだ2年であるため、途中経過の評価になる。
- ◆留学生を含め、2年間で14単位取得するなど、外国語学習に熱心な学生が数名いることが判明した。
- ◆初修外国語2の履修者が300名程度いるなど、英語が苦手な学生や他言語に興味がある学生に対するカリキュラムとして、当初の意図が反映された結果と言える。

総括

- ◆ 外国語は、教科の性質上A知識・理解やC関心・意欲・態度に強く関連し、それらの項目については目的を達成していると考えられ、外国語教育部門として大多数の学生に外国語の知識や異文化への興味を促す役割は果たしていると言える。
- ◆ B思考・判断・表現については、実際の授業内容では異文化への理解を促す場合に学生の思考や判断・表現に強く関連することがあるが、実際にそれを測る指針がないことが課題である。また、外国語カリキュラムの構成ではBに関連する授業が2年生秋学期以降開講になるため、これらの授業に学生が繋がるような仕組みが必要になる。現時点では満たしていないと評価せざるをえない。
- ◆ D技能についても、コミュニケーションという技能を身につけるために外国語教育が強く関係するが、それを的確に測る指標がないことが課題である。
- ◆ 学生の授業評価アンケートにDPに関連する項目を明確に入れてもらえると、授業評価アンケートをエビデンスとしてよりの確に活用できるようになるだろう。